

【☞ 方向ガイド編 ✨】 04

『豊かに潤う悦び』

✨ 『運』の仕組みが分かる
基礎講座 ✨

「よろこび」は、
人を動かす原動力になります。



「よろこび」で、人生が大きく変わると言っても過言ではないでしょう。

「よろこび」にも種類がありますし、
「よろこび」に見せかけた
「見せかけ」の感情もあります。



今回は、そこを掘り下げてお話しますね。

「よろこび」には、
大きく分けて2つあります。

よろこ 「喜び」

外側からの「出来事」(条件)に反応する。
嬉しい出来事が、もたらされた時に感じる。

よろこ 「悦び」

内側から、無条件に湧き出してくる。
自分だけでなく、周りを幸せにした時に感じる。

「喜び」は、恵みの雨のように、
外側からもたらされるイメージ。



「悦び」は、湧き水のように、
内側から溢れてくるイメージ。



「喜び」と「悦び」とどちらも大切ですが、



古代日本人の『叡智』では、
『魂』(最も深いところ)から湧き出てくる、
『豊かに潤う悦び』を推奨しています。

『ありのままの自分を磨く』



『大切な御縁を慈しむ』

を順番に行うことで、

『豊かに潤う悦び』

を得やすい流れになっています。

『ありのままの自分を磨く』

『大切な御縁を慈しむ』

『豊かに潤う悦び』

の3つの条件を満たすと、

お が お ちゅう
『無我夢中』

という領域になります。

ここで注意点として、
「よろこび」とは違う、



「見せかけ」の感情について
お伝えしておきます。

「見せかけ」の感情は、
言い換えると「^{かわ}渴いた快楽」。



満たしたと思っても、
すぐに渴くので、さらに求めたくなる。
中毒性があり、依存しがちになる。

現代は、「渴いた快樂」が蔓延しがち。
すぐに、簡単に、刺激をもらえて、
気持ちがいいものだからです。



前回お伝えした、
「数が多いと幸せ」「数が少ないと幸せ」
という価値観が、

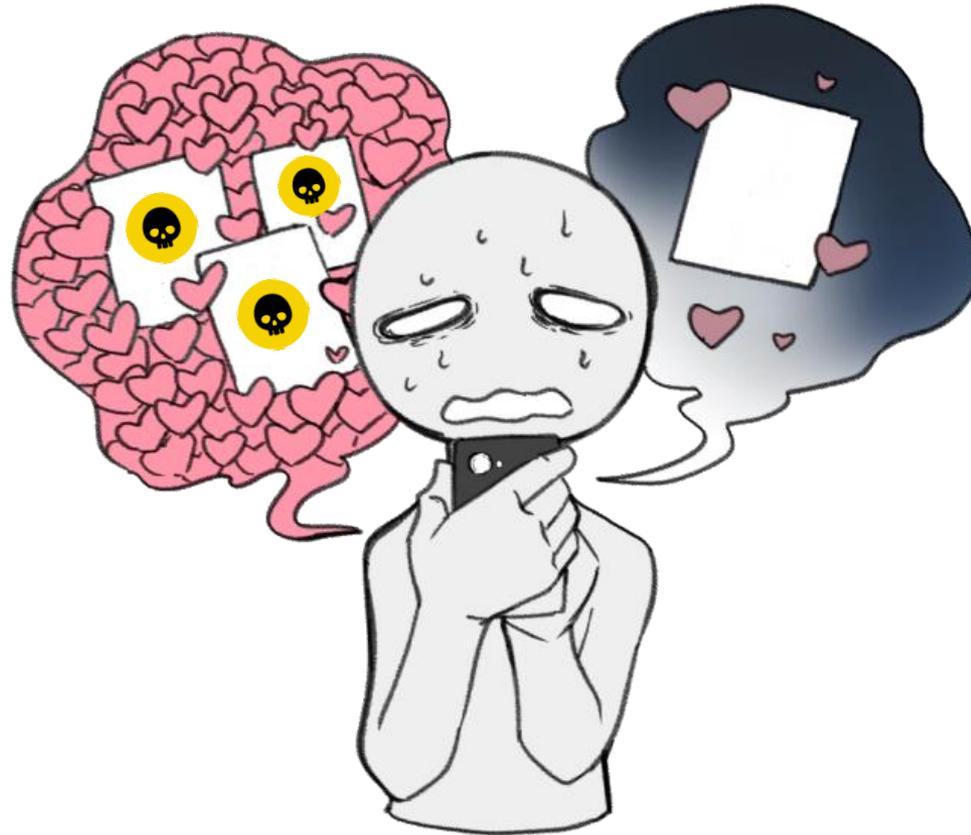


「渴いた快樂」に
つながりやすいと言えます。



「渴いた快楽」の極端な例は、
「薬物」等ですが、
SNS依存等も、
問題視され始めています。

SNS自体に問題があると言うよりも、
「数」に囚われて、



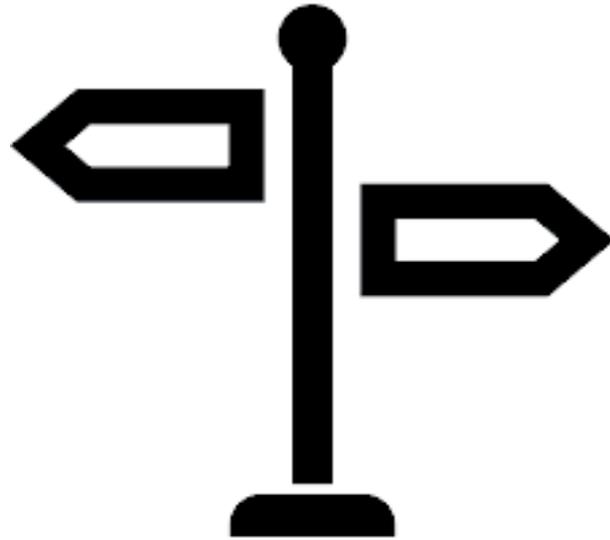
承認欲求を満たそうとすると、
「^{おちい}渴いた快樂」に陥りがちになります。



ちなみに、薬物依存症の人を
治す方法の一つとして、
「人を喜ばせる／役に立つ」ことが、
とても有効であるという研究もあります。

「人を喜ばせる／役に立つ」ことは、
「渇いた快楽」⇒『豊かに潤う悦び』
に変える効果的な秘訣と言えるでしょう。

『豊かに潤う悦び』を味わいたい方は、
引き続き、読み進めてみてください。



次の章へ、続く。

もう一度
最初から見る

